



# ピラミッドの頂上で 風を感じる

～メキシコより

日本航空 メキシコ支店 若松 努

“メキシコ”といえば、皆さまは何を思い浮かべますか？多くの方が「サボテン」「ソブレロ」などとお答えになることでしょう。確かにそれらがメキシコを象徴するものの1つであることは事実ですが、ここでは、皆さまの「メキシコ旅行」の一助になるようなお話をご紹介しますと思います。

旅行の楽しみと言えば、旅する国々の「食事」がその1つですが、メキシコの食事として有名なのは「タコス」です。一般的に日本では、とうもろこしの粉を練り薄くのばして焼いた円形の生地そのものをそう呼ぶと思われていますが、この生地は「トルティージャ」と言って、このトルティージャに肉や野菜を挿んだり載せたりして食べる料理を総じて「タコス」といいます。サンドイッチに相当する軽食ではありますが、タコス専門店もある程のまさにメキシコの「庶民の味」です。朝やお昼の時間に歩道の至るところに出没する屋台では、1つ8～10ペソ程度（日本円で約80～100円）で美味しいタコスを楽しむことができます。タコスもいいですが、本格的なメキシコ料理も是非、レストランで味わってみてください。中でも、「モーレ」と呼ばれるソースを絡めた肉料理は絶品です。このソース、見た目は真黒でなんだかグロテスクですが、数種類の唐辛子やアーモンド、トマトなどの野菜になんと「チョコレート」や「シナモン」を入れて作られており、まさに「深いコク」と「繊細な味わい」が楽しめます。このように、レストランで優雅に食事していると、いつの間にか現れてテーブルの横でギター演奏と共に素敵な歌声を披露してくれるのが「マリアッチ」と呼ばれる演奏家たちです。スペイン語で「プロピーナ」というチップを支払う必要がありますが、有名な外国の歌であれば、リクエストにも応じてくれます。求愛の歌をリクエストしているメキシコ人のカップルをよく見かけますが、日本人の私には恥ずかしくてなかなか真似できません。

さて、食事を取りながら、美味しいメキシコのお酒はいかがでしょう？メキシコのお酒といえば、「テキーラ」と呼ばれる蒸留酒が有名です。テキーラはサボテンから作られると誤解されている方もいらっしゃいますが、「竜舌蘭」から作られ、お湯割りにしてライムをちょっと搾れば、まさに「焼酎お湯割り」の感覚で頂くことができ

ます。きついお酒は苦手という方には、レモンやオレンジのジュースで割る「マルガリータ」や「テキーラサンライズ」などのカクテルがおすすめです。

食べることだけがメキシコ旅行の楽しみではありません。メキシコは、日本の約5.2倍の国土を有しており、観光の楽しみ方も十人十色と言えますが、中でもお薦めするのは、「遺跡巡り」と「ビーチリゾート」です。メキシコには、世界遺産に登録されている文化遺産が20以上もありますが、メキシコシティから車で1時間ほどのところにある「テオティワカン」と呼ばれるピラミッドは必見です。紀元前2世紀ごろに建造された都市の遺跡ですが、このピラミッドの頂上で、強い日差しとからからに濁いた砂交じりの風を体に浴びれば、頭の中でオカリナの音色が渦巻き、哀愁さえ覚えます。このような、世界的にも貴重な遺跡が、至るところに点在しています。またメキシコには、宝石のような輝きの海が我々を魅了する「カンクン」やメキシコシティからも車で行かれる「アカプルコ」など、アメリカやヨーロッパからも多くの観光客が訪れる大きなビーチリゾートもありますが、「ベラクルス」「プエルトバジャルタ」など地元感溢れる小規模の海沿いの町もお薦めです。レストランなどでは、日本語はもとより英語もなかなか通じませんが、地元の方と身振り手振りも交えたコミュニケーションを海風に吹かれながら体験すれば、きっと良い思い出になるに違いありません。

メキシコは危険な国だとよく言われますが、夜中に出歩かない、高級品は持ち歩かないなどの最低限の注意を払えば、観光客でも問題なく楽しめる国です。是非今度のご旅行先に「メキシコ」を選んでみてはいかがでしょうか？人生観が変わるような何か、ここメキシコにはあるかもしれません。

